

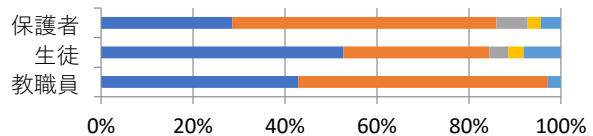
# 令和5年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

## ①いのちを大切にす心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

### 1 一人一人の児童生徒の尊重

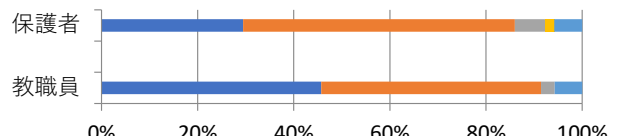
学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていますか。



昨年度と比べ、大きな変化はないが、教職員の意識としては、少し上がっている。また、保護者と生徒の「そう思わない」という回答が少し増えている。このことから、引き続き「先生と話そうタイム」の活用や面談を充実させて支援や指導をしていくとともに、家庭と連携をとりながら対応していく必要があると考えられる。

### 2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

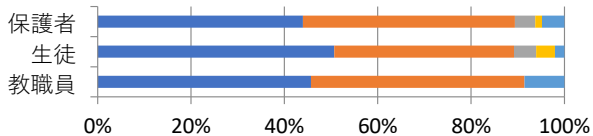


豊かな人間性を育む心の充実にについては、教職員は、教育活動全体を通して意識しながら実践ができています。取り組みや子どもの変容を保護者に通信などで発信していくことが大切だと思う。

## ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

### 3 授業力向上

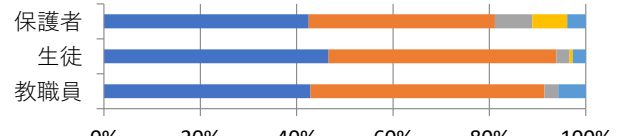
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



保護者・生徒・教職員の意識が高いことがわかる。昨年と比べて、保護者の意識が高まっているため、子どもの学習意欲向上が広がっていることが考えられる。この学習意欲をさらに向上していくために、取り組みの継続と充実を図っていく。

### 4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

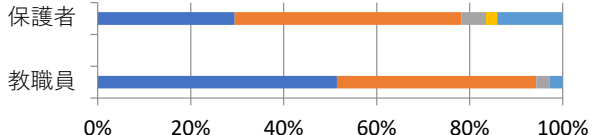


学習時のICT活用がある程度できていることがわかる。児童にとってタブレットは学習道具だという意識をさらに高めていけるよう取り組みを続けていく。

## ③教員が子どもと向き合うための体制の整備

### 5 学校の支援体制

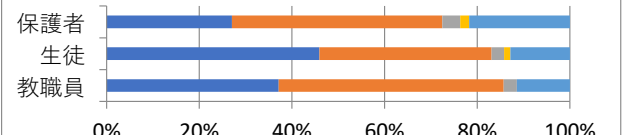
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



校内支援委員会を中心に共通理解はある程度できていると思うが、より一層の支援体制の充実を図っていく必要がある。また、教職員と比較して保護者の評価が低いので、保護者との連携や発信の機会を増やしていく必要がある。

### 6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



概ね相互理解に繋がっていると考えている回答が多かった。「分からない」という回答が共に1割以上あることから「交流及び共同学習」についてより一層の啓発が必要である。また、「思わない」という回答に対しては真摯に受け止め、より良い活動となるよう計画を見直していく必要がある。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力																																			
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。																																			
<table border="1"> <caption>安全と事故防止に関する意識調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>どちらか</th> <th>いいえ</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>25%</td> <td>65%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>65%</td> <td>25%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>45%</td> <td>50%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	どちらか	いいえ	わからない	保護者	25%	65%	5%	5%	生徒	65%	25%	5%	5%	教職員	45%	50%	5%	0%	<table border="1"> <caption>家庭や地域との連携協力に関する意識調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>どちらか</th> <th>いいえ</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>35%</td> <td>45%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40%</td> <td>55%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	どちらか	いいえ	わからない	保護者	35%	45%	15%	5%	教職員	40%	55%	5%	0%
対象	はい	どちらか	いいえ	わからない																																
保護者	25%	65%	5%	5%																																
生徒	65%	25%	5%	5%																																
教職員	45%	50%	5%	0%																																
対象	はい	どちらか	いいえ	わからない																																
保護者	35%	45%	15%	5%																																
教職員	40%	55%	5%	0%																																
<p>昨年度と比べると、児童は6割、教職員は4割を超えており、事故防止などへの意識が高まったといえる。児童に関しては、生活委員会を中心に注意喚起を行った成果とみる。また、教職員の意識の高まりも児童へ反映しているものと考えられる。保護者への発信の機会を増やしていく必要がある。</p>	<p>教職員の認識では、ほぼ連携・協力をしていると認識している。家庭とは、些細なことでも電話連絡している。また、コロナが5類となり、学校に地域の力を入れることも増えてきた。しかしながら、保護者との認識の違いは素直に受け止め、今後も丁寧に連携していかねばならない。</p>																																			

⑤ 本校の教育

9 あいさつの習慣づくり	10 規則の遵守																																								
子どもは、笑顔で気持ちのよいあいさつができていますか。	子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。																																								
<table border="1"> <caption>あいさつの習慣づくりに関する意識調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>どちらか</th> <th>いいえ</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>45%</td> <td>45%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>20%</td> <td>55%</td> <td>15%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	どちらか	いいえ	わからない	保護者	30%	50%	15%	5%	生徒	45%	45%	5%	5%	教職員	20%	55%	15%	10%	<table border="1"> <caption>規則の遵守に関する意識調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>どちらか</th> <th>いいえ</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>35%</td> <td>50%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>45%</td> <td>40%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>15%</td> <td>60%</td> <td>15%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	どちらか	いいえ	わからない	保護者	35%	50%	10%	5%	生徒	45%	40%	10%	5%	教職員	15%	60%	15%	10%
対象	はい	どちらか	いいえ	わからない																																					
保護者	30%	50%	15%	5%																																					
生徒	45%	45%	5%	5%																																					
教職員	20%	55%	15%	10%																																					
対象	はい	どちらか	いいえ	わからない																																					
保護者	35%	50%	10%	5%																																					
生徒	45%	40%	10%	5%																																					
教職員	15%	60%	15%	10%																																					
<p>あいさつについて意識の差がある。児童が良い評価を出していることをポジティブに捉え、褒めて伸ばす取り組みを行いたい。また、生活委員会を中心にあいさつ運動等に取り組んだり、職員からも今まで以上に児童に対して挨拶を行うなどを通して、児童の挨拶への意識を更に高めたい。来年度は、あいさつ運動を生活委員会以外にも広げていきたい。</p>	<p>道徳の学習等を通して、何のためにきまりがあるのかという意識をしっかりと育てていけるように校内で共通理解を図りたい。また、職員と児童・保護者の意識の差を埋めるために、保護者に対してお便りで知らせたり懇談会で伝えるなど地道な取り組みを継続していきたい。校則見直しを来年度進めるにあたっては、生活委員会で立案し、高学年を中心に話し合う形式で行いたい。</p>																																								

⑤ 本校の教育

11 体力づくりの推進																					
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。																					
<table border="1"> <caption>体力づくりの推進に関する意識調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>どちらか</th> <th>いいえ</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>40%</td> <td>45%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>75%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	どちらか	いいえ	わからない	保護者	40%	45%	10%	5%	生徒	75%	15%	5%	5%	教職員	40%	50%	5%	5%	
対象	はい	どちらか	いいえ	わからない																	
保護者	40%	45%	10%	5%																	
生徒	75%	15%	5%	5%																	
教職員	40%	50%	5%	5%																	
<p>保護者・児童・教職員ともに、体力づくりに努めようとする意識は高い。しかし、保護者や児童の2割強がすすんで運動をしていないという結果から、学校外で運動をする機会はそれほど多くないととらえることもできる。また、スポーツテストの結果を受けて具体的な取り組みを学校全体で行うことも大切だと感じた。</p>																					

## 来年度の具体的な取組について

- ①いのちを大切にすゝ心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応について
  - ・ 道徳の授業や取り組み後の子どもの変容などを通信等で保護者に知らせていく。
  - ・ 「先生と話そうタイム」をさらに充実させたり、支援の方法や成果など保護者と連携したりしていく。
- ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進
  - ・ 学習意欲向上に向けて、学びアップタイムの全学年実施と授業づくり視点の共通実践を進めていく。
  - ・ タブレットの学習時にさらに有効な使い方を職員で共通理解できるよう研修を行っていく。
- ③教員が子どもと向き合うための体制の整備
  - ・ 校内支援委員会を中心に、全職員の共通理解、支援体制づくりを図っていく。
  - ・ 充実した「交流及び共同学習」が行えるよう支援学級担任と交流学級担任との連携を密にしていく。
- ④学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進
  - ・ 保護者へ向け、学校での取り組みや注意喚起など、本校のHPを活用し発信していく。
  - ・ 地域との連携を深めるために、学校行事や学年行事での地域参画を進めていく。
- ⑤本校の教育
  - ・ スポーツテストの結果をふまえて、子どもたちの体力づくりに生かしていく。
  - ・ 生徒指導面からの保護者へのお便りを学期に1回以上配布する。